



4期目も、誰もがこのまちで安心して暮らせるよう活動してまいります。

4月の足利市議会議員選挙で、4期目の当選を果たすことができました。これもひとえに皆様からのご支援のおかげであると、心より感謝しております。政策の議論を深めるには思いだけではなく制度の知識が必要なため、これまで積極的に研修に参加したり、現場の声を聞いたり、制度の知識を身に付けてきました。4期目となっても学ぶ姿勢を忘れずに取り組んでいきます。

今期の市議会は、新人8名、女性議員は総勢9名となりました。女性議員の割合37.5%は全国的に見てとても高く、県内でも注目されています。

女性の視点を取り入れた政策の展開につなげて参ります。また、議会改革推進協議会会長となりましたので、成り手不足解消や議員定数の議論を進めていきたいと思います。



令和5年度 6月議会

一般質問ピックアップ

QRコードから動画もご覧いただけます▶

① 持続可能なまちづくり

① 立地適正化計画

詳細HPはこちら▼

金子▶本市では、2022年に立地適正化計画が策定され、都市機能誘導区域や居住誘導区域を設定しているが、公共施設や学校や保育所の再編、観光振興などの課題や今後のまちづくりを考える中で、同計画との整合性をどのように考え取り組んで行くのか？



答弁▶都市機能や居住の誘導区域を設定しそれらを公共交通等で連携することで、快適で利便性の高い持続可能なまちの実現を目指している。誘導方針に加え地域コミュニティ等にも十分配慮しながらコンパクトなまちづくりを目指していく。



提案しました! 居住誘導区域外から区域内に移転する場合の移転補助を導入してはどうか? 他市では同様の補助金に多くの利用がある事例がある。

立地適正化計画とは?

急速な人口減少と少子高齢化に伴い人口密度が低下する中で、拡散した都市機能や居住を集約して持続可能なまちづくりをするための計画。都市機能誘導区域や居住誘導区域を設け、ゆるやかな誘導を促している。

② 空き家対策

金子▶空き家対策の推進に関する特別措置法の一部が改正され、所有者の責務や空き家の活用拡大の方策が強化され、また、倒壊等の危険性が高い「特定空き家」となる前段階に「管理不全空き家」を位置付け、固定資産税の住宅地用特例を解除できる(空き家に対する税金が6倍になる)など、これまでより踏み込んだ取り組みができるようになった。今後の取り組み、課題は?

答弁▶これまで、倒壊等の恐れのある危険な空き家と認定した153件のうち127件を解体でき、空き家・空地バンクでは累計120件登録している。改正法では、管理が行き届いていない空き家に対し、新しい管理指針に即した措置を市長から指導・勧告すると、勧告を受けた空き家は、固定資産税の特例措置が解除される。現在市内には管理が行き届いていない空き家が900件以上あり、日ごろから管理指導を行っている。納税義務者へ対し、新たな制度の周知をしっかりとしていきたい。

● 空き家担当の取り組み ●

長年放置された空き家が崩れそうだったり、空き地の草木がジャングルようになってしまい、歩行者等への危害の心配や、虫の発生など、空き家・空き地に関するご相談を本当にたくさ



▲空き家から伸びてしまった木

んいただきます。空き家の所有や管理をされている方が市内に居なくても連絡が取れる状態だったら良いのですが、連絡が取れない場合や、最後の所有者さんが亡くなった後の相続人が分からない・居ない案件も多くあります。市役所の空き家担当では、所有権の確認をするために把握できる限りの家系図を作成したりして取り組んでいます。私が過去に関わったものでは、相続権を持つ方が40人以上居た空き家もありました。

空き家担当の地道な調査やマメな連絡と情報提供で、空き家・空き地が活用される機会が多くなったと感じています。このような取り組みは、コンパクトなまちづくりの実現に必要なことです。今後とも地道な活動を続けていきたいと思います。

②誰一人取り残さない社会に向けて

①孤独・孤立対策

金子▶相互に支え合い、人と人との繋がりが生まれる社会と、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、孤独・孤立対策推進法が6月に公布され来年の4月より施行される。日本の自殺者は21,000人、G7所属国のうち最も高い自殺率であり、早期の孤独・孤立対策の充実が求められる。これまで高齢者・障がい者・子ども・ひとり親・いじめ・貧困など様々な視点からの事業が展開されてきたが、今後は法律に沿った取り組みの中で、官民が連携した支援体制の実現・強化にどう取り組んで行くのか。

答弁▶核家族世帯・単身世帯・高齢者のみ世帯の増加による、世帯規模の縮小という社会構造の変化があり、そこにコロナ禍での生活様式の変化が拍車をかけ、あらゆる世代における問題として深刻化・表面化してきたものと考え。幅広い年齢層に及び対応も多岐にわたるため、それぞれの分野と連携して対応していく。協議会の設置については検討していく。

提案しました! 行政をはじめとする関係機関や民間団体等による協議会は努力義務だが、今後事業予算を確保していくには必要な事なので設置に向けて動いて欲しい!

栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター

「ポラリス★とちぎ」の出張相談
足利市役所で相談できます。詳細HPはこちら▶



②不登校対策と学校以外の学びの場

金子▶年々不登校児童生徒は増えているが、受け皿としての学校・家庭教育相談室の充実が求められる。また、教育機会確保法ができてから学校以外の学びの場が徐々に増えているため、民間のフリースクールも学びの場の選択肢の1つとして提示していけるよう連携を進めて欲しい。

答弁▶足利市で令和3年度に30日以上欠席した児童生徒数は295名で、年々増加している。不登校の子どもが通える学校・家庭教育相談室の登録は約40名で、一人一人の希望に合わせた利用を大切にしている。隣接市町にフリースクールは10カ所程度あり、利用希望があれば学校と連携している。

提案しました! 学校家庭教育相談室は午前か午後しか利用できないので、終日居られるように利用時間の拡大すること。また、一カ所しかなく、送迎ができずに通えない場合もあるため、送迎支援の創設。メタバースを利用した居場所やSNSによる相談などオンラインの活用。

③子どもへの生命の教育と性教育

金子▶近年、子どもが被害者となる性犯罪をよく目にする。子ども達が安心して過ごせる環境を作ることが必要だが、SNSが普及している現代では、犯罪に巻き込まれないよう・知らぬうちに加害者となってしまうよう、子どもへの早期の生命の教育や性教育で知識を与える事が必要。最近では、楽しく学ぶことを意識した性教育講座も増えているため、その要素を取り入れて早期の性教育を行ってほしい。

答弁▶幼保・小・中の連携を図りながら発達段階や実態に応じた性教育が必要である。小学校低学年から生命の教育を実施し、外部講師による思春期講座や発達段階に応じた性教育を実施している。家庭と連携し、指導の充実に努めていく。

提案しました! イマドキの性教育の本の充実。栃木県の混用禁止年齢が7歳に引き下げられたため、学校での着替えも、それ同年齢から男女別を意識すること。早期から楽しく学べる民間講座の活用。



▲楽しく学べる性教育の本

進んでいます! 中橋の掛け替え工事

◎令和5年度は残りの橋脚を建設

3連アーチの中橋をスライドさせる先の橋脚を現在建設していますが、令和4年秋冬で橋脚1本ともう1本の杭基礎工事ができ、令和5年度は残りの橋脚(南側2本と杭基礎工事の上の橋脚)と橋台ができます。

◎令和6年秋頃から車輛は通行止めに

令和6年秋頃から3連アーチが移設され、車輛は通行止めとなります。歩行者と自転車用には、下流側に仮橋が設置されるので通行可能です。河川敷を通る事になるので、十分な明るさの確保等安全対策を県へ要望中。

◎高架下の踏切は高架東側へ移動

現在中橋通りにある宝来社街道踏切は中橋からの跨線橋の真下となるため廃止となり、新しい踏切を東側に設置予定です。新設

踏切は、車輛が対面通行できる幅で歩道も整備予定です。また、周辺道路は一方通行規制を対面通行とするとことも検討しています。



●困りごとのご相談や市政に関するご意見など、お気軽にお寄せください●

足利市議会議員 **金子ひろみ**

〒326-0053 栃木県足利市伊勢町二丁目6-14
TEL&FAX 0284-42-8747

【プロフィール】●昭和54年足利市伊勢町二丁目生まれ ●相生小学校、第三中学校、栃木県立足利女子高校卒業●中央大学商学部経営学科卒業 ●スリランカ、ガーナ、ミャンマーでボランティア活動を行う ●青年海外協力隊として南米ボリビアにて、コーヒー栽培普及・収入向上プロジェクトに携わる ●介護施設で勤務、社会福祉士国家試験に合格 ●平成23年4月 足利市議会議員に初当選 ●平成24年に結婚、二児の母 ●令和5年4月 足利市議会議員に4期目当選



ホームページも
ぜひご覧ください。
kanekohiromi.com

SNSはこちらから▶

